

プラスチックの未来と環境問題

気候変動や環境汚染が進む現代社会に生きる私たち
プラスチックとはこれからどう付き合っていけばいいのでしょうか
海洋プラスチック汚染の現状から最先端の研究まで
企業や環境先進国フィンランドにおける取り組み事例を参考に、皆さんと一緒に考えてみませんか？

入場無料



3月4日（月）
13：30～17：30

北海道大学
学術交流会館 小講堂
札幌市北区北8西5

基調講演

「海洋プラスチック汚染

マイクロプラスチック研究の最前線と今後の課題」

磯辺 篤彦

九州大学 応用力学研究所

大気海洋環境研究センター教授

講演

「生分解性プラスチックについての理解と誤解」

松本 謙一郎 北海道大学 工学研究院応用化学部門教授

「バイオ素材プラスチック～日本古来の植物、ススキの可能性」

山田 敏彦 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター教授

「フィンランドにおけるサステナビリティ」

松岡 宗太郎 北海道開発局 農業水産部農業整備課 課長補佐
前在フィンランド日本国大使館一等書記官

司会 大田 麻衣子

(一般社団法人北海道バイオエコノミー研究所代表理事)

交流会 18：00～19：00 会費 1,500円

事例紹介

生活協同組合コープさっぽろ

株式会社 寺岡精工

日本コカ・コーラ株式会社

パネルディスカッション

「2030年までに日本が取り組むべき課題と

私たちが出来ること」

ファシリテーター

小林 三樹 公益財団法人北海道環境財団 理事長

パネリスト

磯辺 篤彦 九州大学教授

山田 敏彦 北海道大学教授

岸村 小太郎 日本プラスチック工業連盟 専務理事

事前申込制
<https://bit.ly/2U1RTTV>



主催：一般社団法人北海道バイオエコノミー研究所

共催：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

後援：経済産業省北海道経済産業局（予定）、北海道、札幌市、一般社団法人北海道中小企業家同友会（予定）、EPO北海道（予定）

Tel: 011-232-3757 <https://hokkaidobioeconomy.or.jp>